

事務事業実績測定調査

事務事業名称	魅力発信事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012 (H24) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市キャラクターの使用に関する要綱、枚方市キャラクターの着ぐるみの貸出しに関する要綱				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	枚方市民に加え、枚方市と関わりのあるあらゆる世代の人たち
	サブターゲット	市外在住者
	ターゲットが抱える課題	枚方市への興味・関心があまり高くない
	ターゲットが抱える課題	枚方市に興味・関心や思い入れはあるが、まちの情報が届いていない

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市PR大使やひこぼしくんなどが枚方市のシンボリックな位置づけとされ、それらの活動を通じた取り組みや情報発信が、イメージアップや交流人口の拡大につながるるとともに、まちに対する愛着や熱量の増加などシティプロモーションの推進につながっている状態。
------------------------	---

事業概要	①枚方市PR大使…枚方市の魅力を情報発信していただき、イメージアップ及び交流人口の拡大を図る。 ②ひこぼしくん…地域資源を活用したキャラクターを活用することにより、市全体のシティプロモーションの推進を図る。 ③枚方市テーマソング関連…歌を通して人のつながりや広がりをつくるとともに、映像を活用しながら枚方市の魅力を発信する。 ④オリンピック・パラリンピック関連事業 (R2年度のみ)
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民がまちとの関わりを深め、シビックプライドを醸成させることで、まちに対する熱量が高まる。そして、市民の熱量がサブターゲットへと波及することで、枚方市に対する興味・関心を持つ。	まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使の取り組みが、より多くの人たちに枚方市の魅力を伝える。	まちの愛着や熱量の増加などにつながる枚方市PR大使の関連イベントなどを実施し、枚方市の魅力をPRする。

指標設定	指標説明	枚方温度の上昇 (枚方市に対する「愛着」「推奨」「関わり」の度合の総量) ※各種イベント時の調査	まちの愛着や熱量の増加などに向けた「枚方市PR大使」との連携実績 (自発的な活動含む)のうち、新聞、テレビなどメディア (地域メディア含む) による情報発信の件数	まちの愛着や熱量の増加などに向けた「枚方市PR大使」との連携実績件数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: H°C (枚方温度)	単位: 件	単位: 件
	達成度	0%	64%	236%
	分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント時の調査を行うことができなかった。	イベント等の実施ができず、目標に到達できなかったが、配信動画への出演等がメディアに取り上げられた。	コロナ関連の啓発への連携など、目標を大きく上回る連携実績となった。
	指標数値	目標 (見込み)	実績	目標 (見込み)

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民がまちとの関わりを深め、シビックプライドを醸成させることで、まちに対する熱量が高まる。そして、市民の熱量がサブターゲットへと波及することで、枚方市に対する興味・関心を持つ。	「ひこぼしくん」が民間のイベント等でも活用される。	「ひこぼしくん」のキャラクターを菓子類や包装紙類・キャラクターグッズ販売などの使用を広く推進するとともに、着ぐるみについても各種イベントでの活用などに向けて、情報発信を行う。

指標設定②	指標説明	枚方温度の上昇 (枚方市に対する「愛着」「推奨」「関わり」の度合の総量) ※各種イベント時の調査	「ひこぼしくん」のキャラクター及び着ぐるみの貸出件数 (庁内外)	枚方の魅力をPRするひこぼしくん公式Twitterのフォロワー数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: H°C (枚方温度)	単位: 件	単位: 人
	達成度	0%	65%	119%
	分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント時の調査を行うことができなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、着ぐるみの貸し出しが激減した。	ツイート頻度を高めることでフォロワー数を増やすことができた。
	指標数値	目標 (見込み)	実績	目標 (見込み)

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民がまちとの関わりを深め、シビックプライドを醸成させることで、まちに対する熱量が高まる。そして、市民の熱量がサブターゲットへと波及することで、枚方市に対する興味・関心を持つ。				枚方市の映像を見ることにより、本市の魅力が伝わり共感する。				枚方市テーマソングなど枚方市の魅力発信となる映像を制作する。			
指標設定③	指標説明	枚方温度の上昇(枚方市に対する「愛着」「推奨」「関わり」の度合の総量) ※各種イベント時の調査				Youtube枚方市チャンネル登録者数				Youtube枚方市チャンネルへの映像配信数			
		単位 H°C(枚方温度)				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	77	78	79	80	1,500	2,000	2,500	3,000	12	12	12	12
	実績	0				4,490				253			
	達成度	0%				299%				2108%			
分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント時の調査を行うことができなかった。				公式SNSでの動画PRを積極的に行い、PRチャンネル登録者数が増加した。				コロナ関連の啓発動画や市長メッセージなどのほか、各課事業の動画配信も増加したため目標を大きく上回った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,850	23,089	13,159		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,850	23,089	13,159		
	物件費計	85	1,307	1,976	2,515	79%	
	歳出計	4,935	24,396	15,135			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		4,935	24,396	1,976	2,515		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での取り組みが減少した半面、動画を多く配信したため、ユーチューブ登録者数が大幅に増加した。コロナ関連の取り組みに市PR大使の協力も得たこともあり、連携実績も増加している。ひこぼしくんの着ぐるみ貸し出しはイベントがほぼなかったことから減少したが、ひこぼしくん公式ツイッターのフォロワー数は増加しており、インターネット上のPR効果が出ていると思われる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市の魅力発信に取り組みを進めるとともに、ひこぼしくんの認知度を高める取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	FM放送活用事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H9)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	インターネットで情報を取得できない人。地域に密着した情報をラジオで取得したい人。カーラジオでFMを聴く人。			
	サブターゲット	災害時インターネットが使えない状況になった場合にラジオを聴く人。			
	ターゲットが抱える課題	市ホームページや公式ツイッターなどによる即時性のある情報を収集できるスキルがないため行政情報を手に入れることが困難。災害時にもインターネット上の情報を受け取ることが困難。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	平時は、コミュニティFM局として年間を通じて放送を行い、地域情報、市政情報などを市民に提供できている状態。災害や緊急時には、防災行政無線の内容や被害状況、災害に関連する注意喚起等を放送することにより市民の安全確保と不安軽減を図る体制が整っている状態。				
事業概要	平常時は市の提供番組としてイベント情報や教育、防災の取組、市民活動の紹介など1日あたり2時間30分の番組制作・放送委託を行う。また災害や緊急時は「緊急放送に関する協定」に基づき災害状況や交通情報などを割り込み放送により注意喚起を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	地域情報、市政情報などを市民に提供できる。				アウトプット (活動結果)	1日あたり2時間30分の市の提供番組が放送される。				インプット (活動)	平時は、コミュニティFM局としてFM放送を行う。			
	指標説明	スマホアンケートでFMひらかたを聞いたことがあると答えた人の割合 【FMひらかたを聞いたことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				アウトプット (活動結果)	市政情報等を放送した時間数				インプット (活動)	コミュニティFM局として平時のFM放送を行った日数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	950	950	950	950	366	365	365	365		
	実績	29				947				366					
	達成度	36%				100%				100%					
分析	令和2年度スマホアンケート未実施のため、実績値は、令和2年2月に独居高齢者向けに行ったアンケート結果による。				防災、教育、安全安心、環境、地域活動などについての15分番組や、警報発令時の緊急情報や、新型コロナウイルス感染症関連情報についての放送を実施できている。				緊急情報のみを放送する大規模災害等がなかったことから、平時のFM放送を24時間366日実施できた。						
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	地域情報、市政情報などを市民に提供できる。				アウトプット (活動結果)	災害や緊急時に、行政防災無線の内容や被害状況、災害に関連する注意喚起等を放送できる。				インプット (活動)	災害時にFM放送を活用する環境を整える。			
	指標説明	スマホアンケートでFMひらかたを聞いたことがあると答えた人の割合 【FMひらかたを聞いたことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				アウトプット (活動結果)	災害時緊急放送(台風・地震等)の回数				インプット (活動)	災害訓練放送の実施回数			
指標設定②	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	50	50	50	50	36	36	36	36		
	実績	29				900				36					
	達成度	36%				1800%				100%					
分析	令和2年度スマホアンケート未実施のため、実績値は、令和2年2月に独居高齢者向けに行ったアンケート結果による。				地震・台風に関する緊急情報を35回放送したほか、新型コロナウイルス関連情報を865回放送した。				市、FMひらかた、枚方寝屋川消防組合で連携し、目標どおり緊急割り込み放送訓練を実施した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,566	4,009	1,994		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,566	4,009	1,994		
	物件費計	51,000	50,462	50,000	50,000	100%	
	歳出計	56,566	54,471	51,994			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	999	1,014		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	999	1,014		
	一般財源	56,566	54,471	49,001	48,986		

5. 総括的分析

総括的分析 平常時の市政情報発信のほか、新型コロナウイルス感染症関連情報などをタイムリーに発信した。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和4年度から市の放送委託は廃止する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ホームページ活用事業												
測定年度	2020 (R2) 年度			部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1997 (H9) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	インターネットによる情報収集が可能な人。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	広報紙の発行は月に1回であり、最新情報をリアルタイムでは取得できない。また、ページ数にも限りがあるため詳しい情報を知ることが困難。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	万全なセキュリティ対策とアクセス集中にも耐えうる通信体制が構築され、市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる状態。					
事業概要	市政情報全般を随時更新して提供。トップページでは緊急情報や重要な市政ニュース、新着情報、イベント情報などを掲載するとともにバナーを活用して情報の入り口を掲載。ツイッターを用いて幅広く情報を発信。23年度からは検索機能が強く統一感あるページ作成が容易にできるホームページシステムCMSを活用。平成28年度にはシステムをクラウド化し、新CMSを導入した。平成29年度からの新CMS公開に伴い、市ホームページの全面リニューアルを行った。平成30年度には、市ホームページの信頼性向上のため、セキュリティ対策として常時暗号化を行ったほか、災害時などに安心して閲覧できるようアクセス集中への対策として、CDNサービスを導入した。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市ホームページや市公式SNSを閲覧することで緊急情報や市政情報をリアルタイムに収集できる。				ホームページや市SNSにて随時市政情報等を発信する。				ホームページや市SNSによる情報発信を行える環境を整える。			
指標説明		市ホームページの年間ユーザー数と市公式SNSへのいいねの数の合計				新規に作成または更新されたホームページ数と市公式SNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラム)への投稿数の合計				各課ホームページ担当者への研修、頼りになる広報課へのホームページに関する相談及び庁内インスタグラム隊の会議回数の合計			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,672,000	3,022,000	3,372,000	3,722,000	2,400	2,400	2,400	2,400	15	15	15	15
	実績	4,564,048				3,740				38			
	達成度	171%				156%				253%			
分析		新型コロナウイルス関連情報など、最新情報の随時更新が頻繁にあったため、市ホームページから求める情報を取得する人が増加している。				新型コロナウイルス感染症関連情報などにより、投稿数が目標を大きく上回った。				ホームページ担当者向け研修は実施しなかったが、頼りになる広報プロモーション課への相談件数31件、庁内インスタグラム隊会議7回開催と、目標を大きく上回った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,131	10,823	13,558		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	11,131	10,823	13,558		
	物件費計	6,061	5,022	5,269	5,116	103%	
	歳出計	17,192	15,845	18,827			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	2,075	0	784	2,137		
	歳入計	2,075	0	784	2,137		
一般財源		15,117	15,845	4,485	2,979		

5. 総括的分析

総括的分析 市ホームページトップページの緊急情報欄で新型コロナウイルス感染症関連の最新情報を土日祝を問わず随時更新し、市公式ツイッターのほか、新たに導入した市公式LINEでの積極的な情報発信を行った。これにより、市ホームページの年間ユーザー数は昨年より倍以上になったほか、市公式SNSの登録者数も急増した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	情報を見つけやすく、見やすいホームページを目指して改善を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	機関紙コンクール等事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1976 (S51) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	PTA、自治会、サークル団体の広報担当者として機関紙づくりをしている人。				
	サブターゲット	広報所管部署の職員。				
	ターゲットが抱える課題	地域媒体で広報担当になる人の多くは、紙面作りのノウハウがなく、スキルを学び、成果物に関して客観的な評価を得る機会がない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上するような広報スキルを学ぶ機会、発表する場がある状態。					
事業概要	①職員が講師となり5月に講習会(1回完結・全3回)を開催。②講習会の成果の発表の場としてコンクールを実施。12月に作品を募集し、1月に審査を実施(審査員は枚方記者クラブ記者や地域情報誌発行者など)。2月に表彰式と審査員による講評、展示会を開催。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		自治会やPTA、サークルの機関紙の内容が充実し、作成者の広報力と満足度が向上出来る。				自治会やPTA、サークルの広報担当者がコンクールに興味を持ち、参加する。				講習会を実施する。			
指標設定	指標説明	コンクール参加者へのアンケートで「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の割合【算出式:「参加して大変良かった」「良かった」と答えた人の数/コンクール参加者×100】				コンクール参加団体数				講習会参加者数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90	90	90	90	45	45	45	45	40	40	40	40
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
分析	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催せず。				新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催せず。				新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催せず。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	3,207	1,994	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,988	3,207	1,994	
	物件費計	96	93	106	110	96%
	歳出計	2,084	3,300	2,100		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,084	3,300	106	110	

5. 総括的分析

総括的分析	自治会報づくりのノウハウを職員が講師となって市民に指導する機関紙作り講習会や、その成果発表の場である機関紙コンクールは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、その代替として、応募対象を新型コロナウイルス感染症に関連する記事を掲載した作品に限定したウィズコロナ機関紙コレクションを開催し、22団体が参加した。応募作品は広報ひらかたや市ホームページで紹介した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市民活動の活性化のため講習会等に取り組むが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点により実施の可否を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	広報ひらかた発行事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名		計画推進1-1.広報・広聴活動の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1951(S26)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	広報ひらかたから情報を取得している市民(在住外国人を含む)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	住んでいるまちの情報を定期的・確実に得る手段が必要				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	全ての市民(在住外国人を含む)が、毎月の特集や市政ニュース、まちの話題、市民登場、枚方キッチンといったコーナーで、読んで楽しむ、お知らせ面では分類毎の掲載により知りたい情報を見つけやすいよう工夫した冊子から情報を入手できる状態。					
事業概要	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布するとともに、聴覚障害者向けに点字録音版も発行。内容はテーマを持って掘り下げた特集、市政ニュース、安心情報、各種イベントや求人・保険ガイドのお知らせ、まちの話題などをタイムリーに掲載。また、重要課題を分かりやすく情報提供するため、4ページまたは12ページの特集号を必要に応じて年度に最大各2回を発行。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		市民が住んでいるまちの情報を定期的・確実に得ることができる。				広報紙をすべての市民が入手できる。				広報ひらかたを発行する。			
		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標説明		スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合 【算出式:「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】				年間配布部数(通常号のみ)				年間発行回数(通常号のみ)			
		単位		%		単位		部		単位		回	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)		80	80	80	80	2,230,000	2,230,000	2,230,000	2,230,000	12	12	12	12
実績		94				2,249,639				12			
達成度		118%				101%				100%			
分析		実績値はスマホアンケートの「読みやすい」「どちらかという読みやすい」の合計であるが、目標を十分達成していると考えられる。				市内事業者を含め、全戸配布を行った。				新型コロナウイルス関連情報の最新情報を掲載するよう努めながら、通常号を滞ることなく発行した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	23,853	20,844	21,533		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,228	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	25,081	20,844	21,533		
	物件費計	80,217	88,269	82,393	86,617	95%	
歳出計		105,298	109,113	103,926			
歳入	国庫支出金	1,589	1,666	1,719	2,386		
	府支出金	794	833	859	1,187		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	8,957	6,293	6,740	6,882		
	歳入計	11,340	8,792	9,318	10,455		
一般財源		93,958	100,321	73,075	76,162		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症関連情報を最優先とした紙面構成のもと、ステイホームやDV相談など時事的に関心の高いテーマや、高校生が環境問題を考えるものなど読み応えのある特集に取り組んだ。また、より多くの人に情報を伝えるため、12月から多言語対応アプリを導入した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市の情報や魅力が伝わる紙面づくりを行うとともに、新型コロナウイルス感染症情報など重要なお知らせを最優先とした紙面構成に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	広報活動及び報道機関対応事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	市長公室			課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1960(S35)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	新聞やテレビなどのマスメディアから情報を得る人。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを特に知りたいが、広報紙では、すべからく情報が掲載されていてよくわからない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新聞などのマスメディアへの掲載を通じて広く市の取り組み等が市民等に伝わるよう積極的なプレスリリースや報道対応を行っている状態。					
事業概要	①定例記者会見(市長など市幹部が定例議会前の議案説明を中心に市政をPR。年4回実施)②レクチャー(担当部局が市の政策・事業の中で、ニュース性の高いものを随時、記者クラブで説明)③資料提供(説明までは必要のない市政情報を文書で提供)④広報課取材記事の提供(市政のPRとなるもの、地域の問題などを取材して写真と記事を提供)⑤各課に配置した広報担当職員を中心に、広報意識を高めて全庁的な情報発信力の強化を図る。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		広く市の取り組み等が市民等に伝わる。				市民が特徴がある、あるいは話題となっている市の取り組みを知る機会が増える。				プレスリリースを実施する。			
指標説明		スマホアンケートでメディア等で枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人の割合【枚方市関連の記事を見たことがあると答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				プレスリリースがメディアに取り上げられた件数(延べ)				プレスリリース数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	70	70	70	70	150	150	150	150	200	200	200	200
	実績	57				82				309			
	達成度	81%				55%				155%			
分析		達成度は8割を超えているが、目標を達成するためにはより積極的なメディア向けPRが必要。				イベント他、新たな取り組みなどのプレスリリースが例年に比べて少なかったことから、目標に達しなかった。				新型コロナウイルス感染者情報などのプレスリリースがふくまれるため、目標を大幅に上回った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.85
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,107	13,629	14,754		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	15,107	13,629	14,754		
	物件費計	3,677	3,246	1,692	4,045	42%	
	歳出計	18,784	16,875	16,446			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		18,784	16,875	1,692	4,045		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、全庁的な情報発信意識の向上を図る研修等が実施できなかったが、動画による情報発信などを積極的に行うことができるよう、所管課の個別相談等にも対応した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き情報発信の意識を全庁的に高めていくための取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市勢要覧発行事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	市長公室				課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市に関して知識のない市外の人。				
	サブターゲット	枚方市に関して知識のない外国人。				
	ターゲットが抱える課題	枚方市の概要について調べることが困難なため、簡潔に知る方法がほしい				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる冊子がある。					
事業概要	*平成28年3月に、市外の人に枚方市の魅力が伝わる内容を目指して全面改訂し、日本語版6000部、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版各1000部の合計9000部を作成。公共施設のほか、ひらかたパークやくずはモールなどの民間施設にも設置した。*報道機関等にも取り上げられたことや、ふるさと寄附金の返礼品への同封などから配布部数がさらに増加し、日本語版を平成28年度に12000部、平成29年度に12000部増刷した。*英語版、中国語版についても、市民の協力を得てフランスや上海のイベントでも配布されたことから平成30年度に英語版1000部、中国語版500部を増刷した。*平成30年度配布分については在庫により対応したため、作成(増刷)部数は外国語版1500部のみとなっている。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		枚方市のことをよく知らない人に対して市の施策や魅力が簡潔に伝わり、本市に興味や関心を持つ機会につながる。				市外の方、および市内外の外国人の方に市の情報を提供できる。				日本語版、および外国語版の市勢要覧を発行する。			
指標設定	指標説明	スマホアンケートで「大変良い」「良い」と答えた人の割合 【算出式:市勢要覧について「大変良い」「良い」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				市勢要覧(令和2年度)配布部数				市勢要覧(令和2年度)発行・増刷部数			
		単位 %				単位 冊				単位 冊			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000	9,000	5,000	5,000	5,000
	実績	15				4,000				0			
達成度	19%				67%				0%				
分析	アンケートで「読んだことがない」との回答が76%だったことから、周知が不十分であったと考えられる。				ふるさと寄付の寄附金受領証明書送付時に同封し配布を行った。				残部数があるため増刷せず。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	3,207	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	3,207	798	
	物件費計	0	2,044	0	0	—
	歳出計	398	5,251	798		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	398	5,251	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により外国版の配布が進まなかったが、日本語版については、ふるさと寄附の寄附金受領証明書に同封し一定数の配布を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市外向けの配布を行い、市のPRに取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた便利帳発行事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	市長公室				課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业		区分	一般事務事業						
事業期間	1978(S53)年度		年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	本市に暮らす市民、あるいはこれから暮らす市民。										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	市役所の手続きやごみの出し方、まちの医療機関についてなど、生活するうえで知りたい情報がほしい。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知る方法がある。											
事業概要	転入者に配布できるよう必要に応じ改訂版を増刷するとともに、定期的な全戸配布を目指す。平成2年から平成12年までは隔年全戸配布した。その後は財政面から転入者と希望者に配布。平成19年に市制施行60周年記念として9年ぶりに全戸配布。平成21年、26年にも民間企業と共同で経費を抑えて全戸配布。26年、29年、令和元年発行分については共同発行事業者を公募型プロポーザル方式で選定。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		行政情報だけでなく医療機関の情報など本市で生活するうえで必要な様々な情報を知ることができ、満足度が向上する。				市民に全戸配布したうえで、転入者、および希望者に対しても、ひらかた便利帳を配布する。				ひらかた便利帳を発行する。			
指標設定	指標説明	スマホアンケートで便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人の割合 【算出式:便利帳が「とても便利」「便利」と答えた人数/スマホアンケート回答者数×100】				ひらかた便利帳2020配布部数				ひらかた便利帳2020作成部数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	187,000	3,000	3,000	3,000	200,000	0	0	0
	実績	88				187,000				200,000			
	達成度	110%				100%				100%			
分析	便利帳をよりよくするため、枚方の魅力を伝える企画ページを充実させ、読みやすさを考慮したページ数と記事と有料広告の違いがより分かりやすいデザインとした。				事業者なども含め、市内全戸への配布を行った。				公共施設等配架分と、転入者配布分を加えて作成した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	5,612	798		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	398	5,612	798		
	物件費計	0	0	665	1,160	57%	
歳出計		398	5,612	1,463			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		398	5,612	665	1,160		

5. 総括的分析

総括的分析	「ひらかた便利帳2020」は、共同事業者と連携の元、令和元年度に作成し令和2年5月20日から6月8日までの間に配布を行った。また、点字版・録音版についても別途市が作成し、令和2年度中に対象者に配布した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後、市民室窓口にて転入者に在庫部数を配布予定。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	シティプロモーション推進事業										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名	計画推進1-1.広報・広聴活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018 (H30) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市民			
	サブターゲット	市外在住者			
	ターゲットが抱える課題	移住・定住における居住区選びで、各自治体の魅力に差異を見出せていない。			
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れはあるが、まちとの関わりが希薄である。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民がまちとの関わりを深め、シビックプライドを醸成させることで、まちに対する熱量が高まる。そして、市民の熱量がサブターゲットへと波及することで、枚方市に対する興味・関心を持ってもらい、定住促進につながる。ひらかたプロデューサーズの取り組みが行政と市民の協働による新たな魅力・賑わいの創出につながるとともに、市民それぞれのネットワークを通じた広範囲な情報の拡散、熱量の伝達が行われている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①シティプロモーション推進業務委託、委託内容を踏まえた企画・調整 ・枚方温度調査を実施し、シビックプライド(愛着・誇り・関わり・推奨)を高め、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進する。 ・ひらかたプロデューサーズとの取り組みを通して、行政と市民が枚方市のシティプロモーションを一緒に考えることで、協働のまちづくりの機運を高める。 ・①の取り組みに関し、マーケティングなどに関する外部有識者から意見を聴取し、シティプロモーションの推進を図る 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)		
	市民がまちとの関わりを深め、シビックプライドを醸成させることで、まちに対する熱量が高まる。そして、市民の熱量がサブターゲットへと波及することで、枚方市に対する興味・関心を持ってもらい、定住促進につながる。	枚方温度調査を受けることやひらかたプロデューサーズとして参加することにより、自身の住んでいるまちのことを考える機会等が増える。	シビックプライド(愛着・誇り・関わり・推奨)の状況を把握する。(枚方温度調査等)		
指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)		
	枚方温度の上昇(枚方市に対する「愛着」「推奨」「関わり」の度合の総量) ※各種イベント時の調査	枚方への愛着、熱量の高い「ひらかたプロデューサーズ」の登録者数(総数)	シビックプライド(愛着・誇り・関わり・推奨)の状況把握に向けた枚方温度調査の実施		
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	
	目標(見込み)	77 78 79 80	300 400 500 600	4 4 4 4	
	実績	0	213	0	
達成度	0%			71%	0%
分析	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント時の調査ができなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から外向きのイベントが実施できず新規登録者が増えなかったが、市内高校と連携し「ひらかたプロデューサーズ高校生」など新たな取り組みを行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により枚方温度調査が実施できなかった。		

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.65
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,813	4,009	13,159	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	10,813	4,009	13,159	
	物件費計	8,321	0	0	0	—
	歳出計	19,134	4,009	13,159		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	19,134	4,009	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から外向けのイベント等は開催できなかったが、ひらかたプロデューサーズのミーティングをオンラインで2回開催したほか、おうち時間の過ごし方アンケートを実施して広報紙に掲載するなど、コロナ禍ならではの取り組みを行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き「ひらかたプロデューサーズ」の取り組みを進めることにより、まちへの関心や関わりを高める機会をつくる。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ふるさと寄附金推進事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	市長公室			課	広報プロモーション課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	現在市外に住んでいる枚方出身者や枚方にゆかりのある方。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	枚方市に愛着や思い入れがあるにも関わらず、遠方に住んでいることで故郷との関係性が薄くなっている。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつながっている状態。					
事業概要						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	様々な事情で地元を離れざるを得なくなった方も、愛着のある地元へふるさと寄附を通して応援、地域貢献を行うことで繋がりができ、シビックプライドの醸成へつながる。	枚方市へふるさと寄附がなされる。				枚方市へのふるさと寄附の増加に向けて、ふるさと寄附に関する情報発信を行う。							
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	枚方市へのふるさと寄附金額				枚方市へのふるさと寄附件数				ふるさと寄附に関する情報発信数(プレスリリース、外部メディアへの掲載)				
指標設定	単位	千円			単位	件			単位	回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	68,127	73,712	80,413	87,114	3,050	3,300	3,600	3,900	3	4	5	6
実績	350,041				3,926				11				
達成度	514%				129%				367%				
分析	個人の大型寄附があったが、それを除いても目標額を大きく上回っている。				目標件数を大きく上回っている。				新型コロナウイルス感染症対策応援基金関連でのプレスリリースが多くあったため、目標数を大きく上回っている。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,290	9,701	11,963		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	888	1,433	822		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	12,178	11,134	12,785		
	物件費計	32,568	41,940	34,457	50,757	68%	
	歳出計	44,746	53,074	47,242			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	44,746	53,074	34,457	50,757		

5. 総括的分析

総括的分析	年度後半にかけて前年度比較で減少傾向にあるものの、寄附金額、寄附件数とも目標値を大きく上回っている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きふるさと寄附の増加に向け、返礼品の追加などの取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	広報プロモーション課運営事務											
測定年度	2020(R2)年度				部	市長公室			課	広報プロモーション課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外									
	施策目標		99.施策体系外									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	不明		年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称									サンセット	~	
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	広報プロモーション課職員・職場。									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	広報プロモーション課における事業が円滑に執行できない。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	広報プロモーション課の各事業等が円滑に執行出来ている状態。										
事業概要	市議会に関する連絡調整。災害時における情報の市ホームページ掲載、報道機関への連絡など広報活動。庁内外への照会・回答処理。財務・会計・契約・文書管理。北河内7市で構成する北河内広報連絡協議会の運営事務。所管する公用車の管理等。広報アドバイザー会議の運営事務。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標説明	指標種類												
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	10,734	13,388	5,981		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,734	13,388	5,981		
	物件費計	868	727	405	777	52%	
	歳出計	11,602	14,115	6,386			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		11,602	14,115	405	777		

5. 総括的分析

総括的分析	-
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	-